

平成21年度事業報告書

(自平成21年4月1日 至 平成22年3月31日)

平成21年度当財団の事業を「平成21年度事業計画書」に基づいて実施したので、その概要について報告します。

平成12年4月に「財団法人 青少年更生福祉センター」（昭和42年設立）および「財団法人 矯正福祉会」（昭和46年設立）を統合し、「財団法人 日立みらい財団」として発足して本年度は10年目であり、「社会を明るくする運動」や「地域活動」を中心とした民間のボランティア活動を重点支援する方針で、事業推進してきました。

各事業の実施状況概要は以下のとおりです。

記

1. 青少年健全育成の教育・研修・その他支援事業(第1号事業)

(1)「竹内基金」国際交流事業

①更生保護・矯正職員の海外研究

■新潟保護観察所 保護観察官 明石 史子氏が平成21年7月21日から平成22年3月19日までの期間、カナダにおいて「カナダにおける最近の保護観察制度、処遇に係る実態調査」の調査研究と、保護観察関係機関等を訪問し実地調査・研修をした。

■矯正職員の海外研究は、今年度なし。

これらに要した費用は190万円。

②海外更生保護・矯正専門家招聘

海外更生保護専門家及び海外矯正専門家の招聘とも、今年度なし。

(2)“社会を明るくする運動”推進事業(子ども・いきいき・ネットワーク事業)

「社会を明るくする運動」は、平成21年度に59回目を数え、各種事業が全国的に展開された。

当財団では下記10地域の行事について助成した。

行事	開催地	開催日	内容等
① 浦河こども広場 2009	北海道 浦賀町	12月12日	地域ぐるみでの家庭教育推進を図るため、厚生保護女性会と青少年関係団体が連携し、家族や友達と一緒に楽しめる「冬の縁日」を実施。400名参加。

②学童野球交流大会	福島県 中島村	7月18日 ～19日	小学生を対象にその保護者・地域住民を巻き込んだ学童野球大会を開催、これと合わせて社明運動の趣旨説明など実施。約940名参加。
③新米ママの集い ミニコンサート	千葉県 船橋市	6月24日	子育て支援と社明運動の結びつき強化のため、講演会と新米ママバンドミニコンサートを実施。母子含め201名が参加。
④一声運動「挨拶のある街逗子をめざして」	神奈川県 逗子市	4月～12月 (18回開催)	学童保育所、ふれあいスクールで放課後を過し地域との繋がりが薄い学童を対象に施設と連携し「挨拶や日常生活に係る寸劇」を実施。2,061名参加
⑤ふれあい・ドリーム 野球教室	岐阜県 岐阜市	7月30日	BBS主催でプロ野球OB選手を招聘した野球教室を開催、子どもの健全育成、地域の繋がり、BBS活動の活性化が図れた。117名参加
⑥久我山魅力再発見 ハイキング	奈良県 橿原市	11月 8日	保護司会・小学校が連携し、久我山地域の公共施設、神社仏閣を巡るハイキングを実施。「地域の魅力発見」「人の出会いの気づき」を促進。203名参加
⑦食べて語ろう会	広島県 広島市	7月～12月 (12回開催)	保護司会の不登校などのこどもの居場所づくり「食べてかたろう会」を地域と連携して実施することで地域の理解を促進。延べ358名参加
⑧子ども・いきいき・ 相撲大会	高知県 東分区	7月12日	子どもの健全育成には、学校・家庭・地域が一体となることが重要なため、相撲大会という共通行事を開催。小学生・保護者212名他、105名が参加
⑨楽しい伝承教室	宮崎県 延岡市	7月21日 ～8月31日	伝統芸能を授業に取り入れ保護司会が指導。郷土芸能大会を目指し、櫛伝馬おどりの習得に取り組んだ。小学生60名、保護司他32名参加
⑩ 匠に学ぶ ワークショップ in 東京藝術大学	東京都 台東区	8月 8日	子どもたちが、本物の技に触れ驚きや感動を体験できる様、また、大学をより身近に感じたり、親子のふれあいの機会となるよう開催。206名参加。

これらに要した費用は270万円。

(3)子ども・みらい・サポート事業

本事業は、平成12年度までのボランティア研修キャンプ事業に替わる新たな事業として、平成13年度より計画・実施した。従来のボランティア研修キャンプ事業は全国BBS会員の研修が主目的であるのに対し、子ども・みらい・サポート事業は地域の子どもの健全育成活動を実践することを主目的とし、BBS会員がこの活動を実践することでBBS会員の研修も兼ねた事業とした。

第9回である本年は、7月18日～20日に富山市こどもの村を主会場に、「夢のリズムを奏でよう in とやま」のイベントを実施。県内外から集まった子ども達とBBS会員が力を合わせマーチングに取り組む中から人への思いやりや仲間と助け合って物事を成し遂げることの大切さを学び、社会性豊かに成長してくれることを願って実施した。

小中学生・BBS会員スタッフ等150名参加し、盛況に事業を終えた。

これに要した費用は231万円。

(4)更生保護奨励賞事業

更生保護事業推進の一助に「更生保護奨励賞」を設け、法務省の推薦する功績が顕著であった更生保護女性会及びBBS団体に奨励賞盾と副賞を贈呈している。

平成21年度は、下記8団体に贈呈した。

(副賞は1団体11万円)

都道府県名	団体名	功績の概要
北海道	中標津町更生保護女性会	更生保護施設への物心両面に渡る援助や青少年の非行防止、健全育成活動などにも積極的に取り組み関係諸団体のみならず、住民からも高い評価を得ており、今後も幅広い充実した活動が期待できる。
山形	川西町更生保護女性会	ミニ集会を積極的に開催、また、子育て支援活動、少年院行事への協力活動、町主催の「おぼんごまつり」では、中心となり活動。地域から高く評価されている。
埼玉	秩父地区更生保護女性連盟	更生保護施設入寮者に対する定期的な激励訪問、保護司会と連携した防犯パトロール、地元養護施設の支援他、社会を明るくする運動にも積極的に協力している。
愛知	西尾市BBS会	保護司会、更生保護女性会と連携し、社会参加活動、少年院・医療刑務所での交流事業等を展開、保護観察対象者の厚生意欲の涵養に多大な成果を上げている。
大阪	生野区更生保護女性会	更生・矯正施設を物心両面で援助、ミニ集会の活発開催、子育て支援等、地域社会のニーズに合致した活動を着実に展開し、社明運動に多大な貢献をしている。
島根	益田地区更生保護女性会	保護司会等と連携し、カルタ会、食事会、ハイキング、読書会、清掃活動や交通安全指導、図書の寄贈運動など、「地域の身近な存在」を目指し活動を展開。
高知	高知BBS会	BBSモデル活動の積極推進や18年度「こども・みらいサポート事業」の中心的役割を果たすなど、高知県のBBS会を先導している。
佐賀	西九州大学BBS会	佐賀地区BBS会と協力し、児童養護施設への慰問活動、薬物乱用防止運動、青少年健全育成事業など、学内に留まらず「地域での活動」を積極推進している。

これらに要した費用100万円。

(5) 矯正施設被収容者の福祉援助

① 少年院対抗競技大会・文芸行事

各矯正管区内で行われる少年院対抗の各種スポーツ大会、コーラス大会、レクリエーション大会、文芸コンクール行事などにその運営費を助成している。

平成21年度は、下記18件の行事に助成した。

管区名	行事内容	実施日
札幌	管内少年院教育活動発表会（意見発表の部、コーラスの部）	12月3日
	管内被収容者美術・文芸等コンクール	10月7日～9日
仙台	第25回管内少年院バレーボール大会	6月24日
	第35回東北ブロック書画コンクール	10月8日
	管内少年鑑別所文芸行事	8月6日
東京	第34回管内少年院剣道大会	7月16日
	管内文芸等作品コンクール及び入賞作品展	10月7日～9日
	管内少年鑑別所文芸大会	2月23日

名古屋	第32回管内少年院バレーボール大会	7月17日
	管内少年鑑別所文芸行事	12月8日～15日
	管内少年鑑別所レクリエーション行事	10月～12月
大阪	管内少年院コーラス大会	11月12日
	被收容者文芸作品等コンクール	5月～9月
広島	第32回管内在院者剣道大会	中止
	第38回管内文芸作品コンクール	4月～1月
高松	管内少年院合同ディ・キャンプ大会	9月17日
	管内矯正施設文芸作品コンクール	11月14日、15日
福岡	管内少年院登山キャンプ大会	7月30～31日
	管内文芸作品コンクール	9月

これらに要した費用442万円。

②被收容者の文芸作品集発行

各矯正管区ごとに行われている被收容者の絵画、随筆、詩歌などのコンクール作品集の編集、印刷に対し助成した。

管区	作品集	管区	作品集
札幌	「どさん子」 第33号 (成人編) (少年編)	大阪	「教育作品集2009」 (成人の部) (少年の部)
仙台	「文集みちのく」 (第30号成人編) (第31号少年編)	広島	「中国路」 第33号 (成人編) (少年編)
東京	「文芸等作品コンクール入選作品集」 (成人の部) (少年の部)	高松	「海」 第33号 (成人編) (少年編)
名古屋	「わらく」 第92号 (成人編) (少年編)	福岡	「文芸コンクール入選作品集」 (成人編) (少年編)

これらに要した費用415万円。

③矯正施設教育環境整備

矯正施設の教育環境整備として助成してきたが、平成15年度で計画施設一巡し終えたことから、平成16年度より事業休止とした。

(6)少年少女スポーツ育成大会の開催

第32回「竹内亀次郎記念杯 日立市少年少女スポーツ育成大会」を平成21年8月22～23日の2日間、日立市市民運動公園陸上競技場他9会場において開催した。少年野球、サッカー、バレーボール、ミニバスケットボール、バドミントンの5種目に合計1,229名が参加した。

平成13年度から、日立市の社会を明るくする運動実施委員会・保護司会にも後援をいただき、法務省が主唱し全国的に展開される「社会を明るくする運動」と協調した大会とした。

大会に要した費用205万円。

2. 出版援助調査研究事業(第3号事業)

矯正の効果を高めるため、昭和51年から矯正行政に関する各種研究、調査及びその出版等に助成してきたが、平成17年度より事業休止とした。

3. 関連諸機関との連携・協力・支援事業(第4号事業)

(1) 地域活動推進事業

① 更生保護女性会ミニ集会モデル地区事業

更生保護女性会が全国的に行うモデル地区の「ミニ集会」活動に助成している。

平成21年度は、日本更生保護女性連盟が選定した下記28モデル地区を助成した。

地方	都道府県名	地区会名
北海道	函館	黒松内更生保護女性会
	旭川	紋別更生保護女性会
東北	宮城	白石荊田地区更生保護女性会
	秋田	大曲地区更生保護女性の会
	山形	村山市更生保護女性会
関東	茨城	水戸市更生保護女性会
	栃木	大田原市更生保護女性会
	埼玉	上福岡地区更生保護女性会
	千葉	夷隅地区更生保護女性会
	神奈川	川崎大師更生保護女性会
	山梨	南アルプス地区更生保護女性会
	静岡	湖西地区更生保護女性会
中部	福井	あわら地区更生保護女性会
	岐阜	鳥羽地区更生保護女性会
	愛知	蒲郡市更生保護女性会
近畿	滋賀	瀬田地区更生保護女性会
	京都	宇治地区更生保護女性会
	大阪	生野区更生保護女性会
	兵庫	淡路市更生保護女性会
	和歌山	紀の川更生保護女性会
中国	島根	鹿島地区更生保護女性会
	岡山	浅口地区更生保護女性会
	山口	下関市菊川町更生保護女性会
四国	愛媛	南宇和地区更生保護女性会
	高知	須崎地区更生保護女性会
九州	佐賀	三養基郡更生保護女性会
	大分	中津地区更生保護女性会
	沖縄	西原町更生保護女性会

これらに要した費用は270万円。

② BBSモデル活動事業

全国のBBS活動のうち、将来のBBS活動の指針となり、かつ青年ボランティアとしての特色を生かしたユニークな活動に対して助成している。

平成21年度は、日本BBS連盟が推薦した下記の13団体に助成した。

組織名	活動名称	活動内容等
秋田県BBS連盟 湯沢地区BBS会	湯沢市ふれあい広場	市商店街に非行防止を呼びかけるたて看板を設置、歩行者天国でBBS紹介ビデオの上映会、お楽しみ抽選会等のイベントを実施。

東京都ＢＢＳ連盟 豊島区ＢＢＳ会	発達障害児保育の学習と 保育園における子どもた ちとのふれあい活動	非行の一要因として注目される発達障害の理解を 深め、保育の実現場で子どもと関わりながら、保育 の課題や机上では学べない様々な問題を体感する。
東京都ＢＢＳ連盟 早稲田大学広域ＢＢＳ会	海岸清掃グループワーク	日頃、ともだち活動で関わっている少年たちと一日 行動を共にし、自然の大切さ、団体行動のマナー、 社会に役立つことの喜びなどを実感する。
愛知県ＢＢＳ連盟 常滑市ＢＢＳ会	親子で焼き物作り	地場産業である焼き物作りを親子で体験すること により、親子の交流を深め、地域への理解と愛情を 育てる。
大阪府ＢＢＳ連盟 貝塚地区ＢＢＳ会	FMラジオと連携、Fight the Sensyu 起き上がり メッセージ	電波とインターネットを活用したＢＢＳの広報活 動を試みる。また、ラジオに出演した講師のメッセ ージ集を制作する。
大阪府ＢＢＳ連盟 大東四条畷地区ＢＢＳ会	スポーツ交流会	地域の協力の下、子どもたちのスポーツチャンバ ラ、サッカー、野球などのスポーツ大会を開催し、 子どもたちを守る地域ネットワーク作りを行う。
島根県ＢＢＳ連盟 浜田地区ＢＢＳ会	通学合宿	子どもたちと共に、小学校に隣接した公民館に宿 泊。子どももＢＢＳ会員も通学等日常生活を行いな がら起居を共にし、レクリエーションなどを行う。
高知県ＢＢＳ連盟	２００９愛と勇気とおも いやりへの挑戦リターン ズ	こども・みらい・サポート事業で培ったノウハウや 関連機関との連携を生かし、同事業と同じ「愛と勇 気とおもいやりへの挑戦」の地域定着を図る。
徳島県ＢＢＳ連盟 鳴門教育大学ＢＢＳ会	みんなあつまれ にこにこまつり	養護施設の少年、その家族・友人、地域の人々を招 きゲームを中心とした祭りを開催。児童生徒に地域 交流の大切さを学んで貰う。同時にＢＢＳも広報。
福岡県ＢＢＳ連盟 福岡市・久留米・ 小倉・筑豊ＢＢＳ会	地域が少年を育む強化事 業「少年に地域・自然の すばらしさを教えよう」	ＢＢＳの無い地域の団体と積極連携し、少年と直接 ふれあうグループワークや社会参加活動を共に実 施。ＢＢＳへの理解・支援者増を図る。
福岡県ＢＢＳ連盟 久留米・九州・筑紫女 学園大学ＢＢＳ会	「ともだち活動のすばら しさを依頼者に伝えよ う！」	ともだち活動実績範囲が拡大している。更に、継続 的な安定した関係を築くため、学習指導等を通じ て、ともだち活動依頼先新規開拓事業を推進する。
佐賀県ＢＢＳ連盟 佐賀地区ＢＢＳ会	「家裁判中少年親子ゴミ 拾いウォーク」拡大実施 と研修	平成１６年より家庭裁判所に協力して実施。さらな る活動展開に向け、他団体との連携により対象少年 の拡大、研修事業、少年親子との交流を実施する。
大分県ＢＢＳ連盟 日田地区ＢＢＳ会	九重連山の雄大な自然の 中で少年たちとの交流を 図る。	少年たちとの登山活動を通じ、身近な自然のすばら しさを伝え、ＢＢＳ会員と少年の心の距離感を縮め る。

これらに要した費用は２８０万円。

③地域自主活動事業

子ども達の健全育成や、地域住民への更生保護活動等のPRをめざし、平成19年度よりボランティア団体と連携し、自主活動イベントを開催。

東京都八王子市で凧作り・凧揚げの「親子ふれあい工作教室」を協賛実施し、12月6日95名、12月12日150名の参加を得た。また、2月17日には更生保護施設で「紫翠苑公開シンポジウム」を協賛開催し、更生保護ボランティア・関係者、地域の方々など約75名が出席された。

これらに要した費用は35万円。

(2)更生保護ボランティア支援事業

①更生保護女性会中央研修

更生保護女性会は、更生保護女性会活動の一層の発展を願って、法務省の協力のもとに日本更生保護女性連盟及び日本更生保護協会と共催し、「更生保護女性会員中央研修会」を開催している。

平成21年度は、10月19日から3日間、全国から地区会の会長100名が参加し、東京・渋谷「ホテルフロラシオン青山」において開催し、「新「更生保護法」と更女のあり方～地域とのきずな～」をテーマに講義やグループ形式での活動報告・討議をした。

これに要した費用は100万円。

②BBS会員中央研修会

日本BBS連盟では、毎年全国から会員を募り中央研修会を開催している。

平成21年度は、第50回BBS会員中央研修を11月22日からの2日間、東京・千代田区「国立オリンピック記念青少年センター」において会員62名の参加で開催。「これからのBBS運動について」をテーマに、研修した。

これに要した費用100万円。

③更生保護法人等役職員中央研究会

更生保護法人全国更生保護法人連盟では、全国の更生保護法人等の実務を担当する役職員により当面する諸問題の研究協議等の事業を行っている。

平成21年度は、1月27日から2日間、東京「アルカディア市ヶ谷」において全国の更生保護法人役職員182名が参加し、研究協議を実施した。

これに要した費用80万円。

④更生保護施設支援事業

更生保護施設被保護者の社会復帰・自立にむけて、更生保護施設が行う地域住民等との交流レクリエーション行事に助成支援。平成15年度より新規事業としてスタートし、平成21年度は下記18ヵ所の更生保護施設に助成した。

- | | | |
|-------------|------------|--------------|
| ①釧路／北見厚生保護会 | ②旭川／旭川保護会 | ③青森／あすなろ |
| ④東京／紫翠苑 | ⑤横浜／報徳厚生寮 | ⑥千葉／千葉県帰性会 |
| ⑦宇都宮／栃木明徳会 | ⑧水戸／有光苑 | ⑨東京／新興会 |
| ⑩津／三重県保護会 | ⑪名古屋／岡崎自啓会 | ⑫京都／盟親 |
| ⑬大阪／泉州寮 | ⑭広島／ウィズ広島 | ⑮高松／讃岐修斉会 |
| ⑯長崎／佐世保白雲 | ⑰宮崎／宮崎青雲 | ⑱那覇／沖縄県厚生保護会 |

これらに要した費用90万円。

(3) 矯正関係団体、学会等への寄付・援助

① 教誨師中央研修会への援助

毎年、(財)全国教誨師連盟が実施する中央研修会を支援している。平成20年度は、第44回全国教誨師中央研修会が8月26日から3日間、法務省大会議室において実施され、全国から合計77名が参加。この運営費に助成した。

これに要した費用100万円。

② 全国篤志面接委員大会への援助

(財)全国篤志面接委員連盟が活動内容の充実と効果的指導方法について研究する第22回全国篤志面接委員大会が平成21年10月16日、法務省大会議室において実施され、全国から合計106名が参加。この運営費を助成した。

これに要した費用100万円。

③ 矯正ボランティア支援事業

矯正施設内で活動している矯正ボランティアの育成・指導技術向上を図るための研修に助成支援。平成15年度より新規事業としてスタートし、平成21年度は8つの矯正管区の管内篤志面接委員研究協議会の研修に助成した。

これに要した費用200万円。

④ 学会などへの寄付

犯罪に関する各学会の活動やその他の団体に援助を行っている。

平成21年度も次の学会・団体に寄付した。

- | | | |
|------------|------------|------------|
| ① 日本矯正医学会 | ② 日本犯罪心理学会 | ③ 日本犯罪社会学会 |
| ④ 日本矯正教育学会 | ⑤ 日本犯罪学会 | ⑥ 日本司法福祉学会 |
| ⑦ 日本被害者学会 | ⑧ いのちの電話 | ⑨ 茨城いのちの電話 |

これらに要した費用80万円。

⑤ スtockホルム犯罪学賞表彰事業への支援

スウェーデン法務省の後援を受けて、犯罪学分野の国際賞「Stockホルム犯罪学賞」が創設された。この賞は、犯罪研究に優れた業績、もしくは、研究結果を応用して犯罪の低減と人権尊重に貢献した方に贈られるものです。Stockホルム犯罪学賞の第一回授賞式は平成18年6月にStockホルム市庁舎で行われた。当財団は、平成18年度に500万円助成支援した。

平成21年度についても、平成20年度と同様、100万円助成支援した。

4. 機関誌「犯罪と非行」の発行事業(第5号事業)

平成21年度は、第160号から163号までの4号を発行。

発行部数は、毎号3,000部を発行した。

これらに要した費用1,835万円。

以上